

怪 談

鑑賞日：2016・8・8

制作 1964 年 文芸プロにんじんくらぶ

上映時間 183 分

監督 小林正樹

原作 小泉八雲

脚本 水木洋子

出演 三国連太郎、新珠三千代、渡辺美佐子、仲代達矢、岸恵子、望月優子、中村嘉津雄、
中村翫右衛門、滝沢修、杉村春子

受賞 カンヌ国際映画祭審査員特別賞

(あらすじ)

黒髪 昔、京都で貧しい暮らしを送っていた武士(三国連太郎)が、ようやく仕官の道を得て、妻(新珠三千代)を捨てて任地に向かう。そこで家柄、財産に恵まれた新しい妻(渡辺美佐子)を迎えたが、我儘で冷酷な女であった。男は今更のように別れた妻を思い、後悔した。ある晩秋の夜、荒廃した京の家に戻った男は針仕事をする変わらぬ妻の姿を見て、今までの自分の非を詫び、妻をいたわり、一夜を共にした。夜が明け、男が目にしたのは……

雪女 武蔵國の若い樵夫巳之吉(仲代達矢)は、茂作老人と森に薪を取りに入ったが、吹雪に出会って、山小屋に閉じ込められた。その夜、老人は雪女に白い息を吹きかけられて殺された。雪女は巳之吉に「今夜のことを話したら殺す」と言い残して消えた。1 年後、巳之吉は森の帰りに美しい女(岸恵子)に出会い、妻に迎え、3 人の子供に恵まれ、幸せな日々を送っていた。ある雪の夜、子供たちの晴れ着を縫う妻の姿を見て、山小屋の雪女を思い出し話を始めた……

耳無芳一の話 盲目の琵琶法師の芳一(中村嘉津雄)は、ある夜、芳一の前に現れた甲冑姿の男に「高貴な人に琵琶を聴かせるため迎えにきた」と言われ、ある場所に連れて行かれる。芳一はそこで「平家物語」の壇ノ浦の合戦を心をこめて歌った。それから武士は毎夜のように芳一を迎えに来て、芳一も繰り返し琵琶を奏でるのである。毎夜の芳一の行動に不審を抱いた住職は、寺男に芳一の後を付けさせる。そこで寺男が見たのは……

茶碗の中 中川佐渡守の家臣の関内(中村翫右衛門)は、年始回りの途中、茶店で水を飲もうと茶碗に水を汲み、顔を近づけるが茶碗の水に見知らぬ男が映っているのに気付く。水を入れ替えたり、茶碗を変えても同じ男の顔が映っていた。結局、彼は男の顔が映っている茶碗の水を飲み干した。その夜、佐渡守の屋敷に戻った関内を見知らぬ男が訪ねてきた。その顔は茶碗の中の不思議な顔だった……

(解 説)

日本に帰化した小泉八雲こと、ラフカディオ・ハーンが残した怪談から 4 篇をオムニバス形式で映画化した。監督の小林正樹は撮影の宮島義勇、美術の戸田重昌、音楽の武満徹等、日本映画を代表するスタッフと、俳優陣もオールスターキャストを揃え、豪華な映画を作った。小林監督はこの映画を「恐怖映画」ではなく、美意識に徹し、この世の世界ではない“耽美”の世界に観客を誘う。完成した作品は制作費の予算を大幅に超え、それが原因で『にんじんくらぶ』は解散した。